

## 古川 佑史（ふるかわゆうじ）・智沙（ちさ）氏

卒業年：佑史氏 平成 17 年 3 月 専攻：野菜 住所：八幡平市  
（智沙氏 平成 17 年 3 月 専攻：花き）



### 1 現在の経営概要

水稲 6ha、大豆 30a、露地野菜 80a、施設野菜 20a。野菜はミニトマト、かぶ、大根、とうもろこし、いちご、ねぎなど約 20 品目を栽培

### 2 経営での担当部門、取組状況、経営の特徴など

10 人の 5 世代の大家族の中で、両親と農大同期の妻とともに農業をしています。野菜は主に盛岡市内と八幡平市内の直売施設で販売しています。栽培方法は、有機系の肥料を中心に、また、湧水を使ったりして「味」にこだわっています。直売所ではやはり価格を安くしすぎる人がいたり、なかなか価格設定が難しいです。でも、消費者からのおいしいとの反応もあり系統出荷とはまた違った楽しみもあります。

このほか乾燥野菜の製造も行っており、ドライトマト、ドライ苺、干し大根など。また、新しい取組として宮城県の大豆会社と契約栽培を始めています。

### 3 就農しているなかでの苦勞、良かったこと

- 実際に就農してみて利益が思うように上がらないことが大変です。
- 就農して良かったことは、自分のねらいどおりにいった時、好きなことを突き詰めていくこと。まさに農業もモノづくりですが、モノづくりが大好きです。

### 4 農大での学生生活（役に立っていること、もっと勉強しておけばよかったこと、思い出など）

- いろいろな野菜を見たり、体験的に栽培できたことが役に立っています。また、寮生活が楽しかった。友人ができたこともとても良かったです。
- 農薬の仕組、作物生理など、理論的な部分をもっと学んでおけば良かった。例えば、農薬散布するにしても農薬の仕組、作物生理がわかっていたら、一番効きやすい散布方法ができるのではないかと思います。

### 5 将来の夢、目標

地域農業の中で若い人は自分たちくらいしかいません。将来的には、地域の農業を自分たちで引き受けたり、担ったりすることができればいいなと思います。

### 6 在校生への激励メッセージ

農業の未来は、自分で作るしかありません。国でも親でもありません。自分の意思をもってください。世の中には、人まかせの人が多く、行政が悪い、農協が悪いなど他人のせいにする人が多いが、自らの意志で切り開いてください。

### 7 HP、ブログ、Facebook の有無

Facebook に登録しています。

### 8 取材後記（取材職員記入）

パートナーの奥様は、花き専攻の同期生だそうです。農大卒業後ほどなく結婚し、現在は 3 人の子供さんを育てながら、佑史さんのよきパートナーとして、農作業を手伝っています。佑史さんの趣味、特技は太鼓だそうです。集落や市の主催する盆踊りなどでも活躍しているそうです。



訪問した時は、ちょうど直売所に出荷するための野菜を袋詰めしていましたが、B 品のミニトマトを長ねぎの細長い袋に入れて売っていましたが、見た目では差別化、いろいろ考えて販売しています。まさに自分で創意工夫、模索しながら経営を切り開いていました。